

科目名	創造研究 Extra Electrical Engineering Laboratory	科目コード	21060
-----	--	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	全教員（電気電子システム工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必修・1単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳：講義0, 演習0, 実験0, その他30】
教科書	
補助教材	必要に応じて指導教員から資料が配付されるか、参考文献が提示される。
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

指導教員単位で配属先決めて取り組む。指導教員が取り組んでいる研究課題に関連した課題あるいはその基礎となる内容の課題が与えられる。また、研究グループに参加して分担する研究を行うこともある。研究指導はそれぞれの研究室独自の方法が採られるが、一般には最初に研究に関連する基礎知識を勉強するための専門書や、研究論文をグループで輪講し、実験設備の使用法を修得した後、文献調査や実験を行う。e-Learning教材を利用することもある。

○関連する科目：卒業研究（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)(G)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①与えられた課題について、問題解決のための資料を調査し、資料を分析することができる。	60%	(d2), (g1)
②自らの意思と発想により、問題解決の方法を調べ、実現方法を模索できる。	40%	(d3), (d4), (g2)

【C. 履修上の注意】

研究は教員に言われてやるものではない。自分で主体的に研究に取り組むことが大切である。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- その他の試験（0%）
- レポート（0%）
- その他（100%）【研究への取り組みと発表会での発表または報告書】

【E. 授業計画・内容】

● 後期

月	内容	備考
10	研究計画の立案, 調査, ゼミナール	
11	資料収集, 実験, 調査, ゼミナール	
12	資料収集, 実験, 調査, ゼミナール	
1	実験, 調査, ゼミナール	
2	研究のまとめ, 報告書作成・提出	